

第1回「学校運営協議会」が開催されました

今年度第1回目の学校運営協議会が5月10日（火）、河北中学校で開催されました。はじめに河北町教育委員会 板坂憲助 教育長から、学校運営協議会委員1人1人に任命書が手渡されました。自己紹介の後、会長・副会長の選出が行われ、昨年度に引き続き、会長に細矢隆宣さん、副会長に大沼信一さんが選出されました。

協議では、はじめに河北中の鈴木校長から、現在の中学校の様子と今年度の学校経営方針についての説明があり、質疑応答の後、方針が承認されました。また、コミュニティ・スクールをより実効性のあるものにするために、「3部会制」の提案がなされ、承認されました。その後、「中学生に期待すること」「子どもたちのためにできること・やってみたいこと」をテーマに、3部会に分かれて話し合いが持たれ、それぞれの立場から活発な意見交換がなされました。

令和4年度 学校運営協議会委員の皆さま（敬称略、◎:会長 ○:副会長）

氏名	役職	氏名	役職
◎ 細矢 隆宣	河北中教育後援会会長	村田 直樹	河北町商工会青年部長
○ 大沼 信一	河北中PTA参与	菊地 航平	地域おこし協力隊
茂木 健	河北中PTA参与	岡部なぎさ	地域おこし協力隊
森 健一	西里小CS会長	逸見 恭子	主任児童委員
田宮 忠和	溝延小CS会長	鍋島 洋美	谷地高等学校 教諭
菅原美穂子	谷地中部小CS会長	鈴木 和彦	河北中学校 校長
山田 剛	谷地南部小CS会長	横井 真人	河北中学校 教頭
阿部 洋平	谷地西部小CS会長	宮地 裕子	地域コーディネーター
砂田 哲	北谷地小CS会長		

《3部会制の目的と主な活動内容》

部会名	目標（目的）	おもな活動内容
生徒活動 支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ・学力の向上に向けて努力する生徒を育てる。 ・スポーツや文化活動を通して、知・徳・体バランスのとれた生徒を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業や研修会等に協力してもらえらる専門性をもった人材（ゲストティーチャー）情報の提供や交渉を行う。 ○授業等で生徒の支援にあたる学習支援ボランティアの情報提供や交渉を行う。（教員OBなど） ○部活動の地域移行、子どもたちのスポーツ・文化活動の環境・体制づくりについて検討・提案する。
総合学習 支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ・より良い職業観を育てるとともに、地域活性化のために貢献しようとする態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○総合学習の時間等で行う活動に対する人材情報の提供や活動支援を行う。 ○職場体験の事業所情報の提供や選定など、職場体験への協力を行う。 ○地域の伝統文化を継承している人や新たな発想で活躍している事業所（人）についての情報提供や学校教育への活用について検討・提案する。
地域活動 支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題を知り、地域のために貢献しようとする態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒たちの校外生活について、良さや課題等についての情報共有を行う。 ○生徒代表と「区長と語る会」について、地域代表に広報するとともに、企画・運営の支援を行う。 ○校外班会組織を生かした地域貢献（ボランティア）活動の具体的な進め方を検討・提案する。

中学生に期待すること、地域ができること・やってみたいこと…

運営協議会の後半は、「中学生に期待すること」、子どもたちのために「地域ができること、やってみたいこと」をテーマに、3グループに分かれて話し合いました。それぞれの立場から中学生に対して感じていることや期待すること、地域の課題や地域ができることなどについて意見交換が行われました。一部を紹介します。

<生徒活動支援部会>

- 河北町を好きになってほしい。
- 谷地高では地域の人との話し合いがある。コロナが落ち着いたら、中学校でも話し合いの場を設けてほしい。
- 河北町のよいところを子どもたちに考えさせ、当たり前だったものが県外には無いことを知ってもらい、河北町を好きになったうえで、できることを考えさせたい。
- 河北町のPRが不足している。町のCMなど。アクションを起こす。
- 伝統的・歴史的なものとの関わり、産業を知る、河北町のよいところを知る。気づく。→将来の夢、やりがいを見つけられる。
- スポ少の減少→子どもが参加しやすい体制、保護者が参加できない。部活動の地域移行に向けて、クラブの体制づくりはどうなるのか？
- 河北中→谷地高→卒業生の講話を中学生に聞かせてはどうか。



<総合学習支援部会>

- 子どもたちには、河北町に誇りを持ち、将来も定住してほしい。
- 今後はもっと中高の連携を深めていきたい。「かほくらし社」の取り組みなどにも参画できないだろうか。
- 「谷地どんが祭り」や「かほくうまいもの横丁」などで活躍の場を設ける。
- 河北町の伝統文化、伝統工芸などを継承していく取り組みや、それらを生かして教室を装飾したりする。

(紅花染め、紅こぎん、教室のデザインを考える→畳をカラー畳にしたり、障子を張り替えたり・・・)

- 河北町産ワインづくりの工程に参加し、20歳になったら記念ワインを受け取るなどの企画はどうか。

<地域活動支援部会>

- 地域とのかかわりが難しいと感じている。・中学生という年頃が難しい。
- あいさつ、学校と地域では違いがある。小学生はできているが、中学生はできていない。
- 祭りや地域の伝統行事への参加、中学生は部活動があるので地域行事に参加できにくい。
- 子どもたちがこの町をどう考え、どうしていきたいのか、伝統として守りたいものはないか、などアンケートを取る。
- 地域のどぶさらいに参加してもらいたい。力があるところで、参加をお願いして、地区の課題解決にもなる。
- 一人暮らしの家の除雪、水害ボランティアなどに参加してもらいたい。
- 河北町の課題を子どもたちに考えさせ、何ができるかを主体的に考え、行動できるように中学生にもっと地域に目を向けさせる。→課題発見
- ボランティアは本来自主的なものである。
- 自分たちで何か楽しいことを考え行動してほしい→困り感からの発見、気づき。

